

World ONIGIRI Friends Project 活動報告



記事編集：島林由香

今年も「おにぎりフレンズプロジェクト」、大成功でした！！

7月17日～31日までの2週間、11名の参加者（以下、キャスト）が日本に集まり、東京、中津川（岐阜）、群馬の3都市に滞在しました。

参加者11名の出身国は、アメリカ、中国、ベルギー、ドイツ、韓国の5か国。9名はUp with People卒業生、とても個性あふれるメンバーが集まりました。

【東京編】

日本舞踊体験！

2泊3日と短い間でしたが、その中で、國學院大學へ行き、神道など日本のディープな文化や歴史に触れ、日本舞踊の体験もしました。お師匠さんのご厚意で、浴衣を着ての日本舞踊、女性らしさ、男性らしさを表す細やかな表現など、なかなか海外の踊りには無いような動きに、ところどころ「ヒュ〜！」と歓声が上がっていたのが印象的です。

初めての日本のホストファミリー

また、滞在中はみんなホストファミリーの家に滞在します。今回受け入れてくれたほとんどの東京ファミリーが一昨年に開催した際の、リピーターの皆さんでした。また今年もやりたいと思ってくださったことが、非常に嬉しかったです。日本が初めてのキャストばかりだったので、緊張していた部分もありましたが、ホストファミリーの皆さんのおかげですぐに打ち解けていたように思います。

キャスト感想

・素敵なホストファミリーたちに出会えた！緊張しながらも大歓迎で優しく接してくれた家族や、家族の一員の様に気を遣わずに過ごせた家族もいてとても面白かった。彼らの寛大さとオープンな心に本当に感謝。また会えるといいな。可愛い子どもたちも！（Mary Kateアメリカ）

・一番チャレンジだったのは、布団で寝ること。よく眠れず疲れが毎日取れなかった。でもこれも異文化体験の一つかな。（Michaelアメリカ）



【中津川編】

ショーづくり！

今回のプログラムは「自分たちで創り上げる」というのを目標に進んできました。ショーをゼロから創り上げる過程で、キャストたちと「なぜこのプログラムをやるのか?」「日本の人たちに伝えたい自分たちのメッセージって何なのか?」について深く考えました。「東京で、家族と過ごす時間がないくらい忙しく働く人を見て、大切なことは何?と問いかけたい。」という意見や、「もっと旅を夢みる子どもたちが増えてほしい。」「小さな世界で生きている子たちに、自分次第で世界は広がること伝えたい」など、このプログラムをやる意義が、キャストたちの中に芽生えた時間でした。



キャンプで心が開かれる！

中津川で盛り上がったのは、「キャンプ」です！中津川の自然の中で、竹を切るところから流しそうめんをしたり、草刈りをしてあーでもないこーでもないと言いながらテントを張り、おいしい地元の食材を頂く。いつもホストファミリーの家に帰るので夜をこうやってみんなで過ごすことで、普段じゃなかなか話さないような深いところまで、心が通じていく感覚がありました。

次の日が初めてのショーでしたが、地元の奥様方や子どもたちもたくさん来てくれて、暖かい時間となりました！それもキャンプで色んなワークを乗り越え、お互いを信頼し合えたからだと思います。

ホストファミリー感想

・田舎だからこそ視野が狭くなりがちですが、キャストの住んでる町、通ってる学校など、子供たちが海外に興味をもつようになった。自分たちも大きくなったら世界中を旅したいと思うようになった。（中津川・伊藤さん）

・子ども達も含めて、他の国の事に興味を持ったこと。英語が話せたらもっと広がる世界との繋がりを感じられると体験出来たこと。（中津川・糸魚川さん）

・一番関わった私自身がもっと話せるようになりたい!!と強く思い英会話教室へ通うことにしました！（中津川・熊谷さん）



【群馬編】

色んな年代・バックグラウンドの人達との交流

群馬では大きな交流が2つ。「コモンビート」と「ブラジル人学校の高校生たち」です。

コモンビートとの交流はまさに体当たり！言葉が通じない中でのお互いを知るグループの時間、踊る、そして一緒に歌を歌う。言葉がお互いわからなくても、同じ歌が歌えて笑い合えるだけで、こんなに暖かい空間になるんだと、涙を流すキャストもありました。非常に良い経験ができたと思います。

ブラジル人学校の高校生たちとの交流もまたチャレンジ。3か国語という難しい環境の中で、ダンスやゲームを通して交流したのですが、なにかもっと伝えることがあるんじゃないかと、Take A Standという世界や自分の身近な問題について共有するワークを取り入れました。どう子どもたちに届いたかは、わかりません。でもこの日キャストたちが問いかけた問いひとつひとつの意味を感じてくれる時が来ると信じています。

参加してくださったホストファミリーの声

・文化や言語がちがくても、相手のちがいをただ受け入れることが大切だということを手伝った。政治、宗教、家族関係タブーと思っていたことも考えを否定せず、尊重し、自分の考えを伝えることをすれば話ができることを知った。ブラジル人高校生との交流会に参加した際、質問（Take A Standというアクティビティ）の時間が胸に刺さりました。おにぎりプロジェクトから世界平和を考えていることに感銘を受けた。また、ショーが本当にすばらしかったです！！短い時間でいくつも組まれていて、4才も「おもしろかった。ずっと見ていたかった」と言っていました。（群馬・今井さん）

感動のさよならパーティ！

最後の日。みんなそれぞれに午前中の自由時間を思いきり楽しみ、午後はこの2週間を振り返る会。なかなか照れくさくて、お礼や感想をまじめに言わないメンバーだったけれど、背中にメッセージを書くアクティビティではみんな、隙間が無くなるまでお互いへのメッセージを書いていた。その後、みんなで体をほぐし合い、最後は円になり、寝っ転がってこのスペシャルな、特別な時間をお楽しみしました。

そして、さよならパーティ！何人来るのかと心配していたけど、ホストファミリー、コモンビート、料理を提供してくださった方々など総勢60人も集まってくれました！最後のショーは目の前の人に伝えたい、そして一生で最後のこのメンバーでのショーを大切に過ごしていたように思います。

子どもたちとはしゃぎ合うキャストたち、最初は言葉の壁があったけど、いつの間にかとても仲良くなっているコモンビートのメンバー。温かい光景がたくさん見受けられました。

あ～これがやりたかったんだな。と改めて、気づいた瞬間でした。

知らないから怖い、違うから近寄らない。それでは、本当に本当にもったいない。同じ心を持った人たちは必ずいて、そんな人たちが一步一步明るい世界を創っていくんだと思います。

キャスト感想

・Up with Peopleに参加していないので、わからないことも多かったが、その分みんなに助けられて良かった。体が疲れた時もあったが、自分の体と向き合い、休むこともできたので、問題なかった。ホストファミリーやスタッフが体を気遣ってくれ

てありがたかった。このようなプログラムを韓国でもやってみたい。いつか一緒に開催しましょう！（Goun韓国）

・このプロジェクトに参加して、違う文化圏での旅や新しい人に会うことの意味を再確認できた。それは、この2週間インターネットなどをオフにして、今ここにいる自分、目の前の相手と向き合う時間を大切にしたら。シンプルに生きることの大切さを学んだ。（Tyleneアメリカ）



【総括・これから】

今回もたくさんの方々に助けられて実現できたと、心から思います。本当に暖かい心をありがとうございました！私の知らないところでたくさん動いてくださっていたと思います。本当に大感謝！また、ご縁があったら、語り合いましょう！
これからも、受け入れる人、参加する人、関わる人全てにが楽しめるような活動をしていきたいと思います！クリエイティブに、遊び心を大切に！

最後に、今回「地域コーディネーター」として大活躍してくれた二人の感想を添えて、報告を終わりたいと思います。読んでいただきありがとうございました。

こんにちは。森ゆうきです。

まず、このプロジェクトに関わってくれた方々に、感謝を伝えたいと思います。
本当にありがとうございました！

地域コーディネーターとして参加して、まず1番大きかったのは純粋に楽しめた事。

中津川や日本の良さ、魅力を改めて自分でも見直す事が出来、それをキャストと共に感じる事が出来ました。

ホストファミリーにとっても海外に触れるきっかけ作りになったと思いますし、特に中津川は最近外国人も増えているので、交流しようと考えてくれるいいきっかけだったと思います。

又キャスト達には日本の良さを知ってもらったと同時に、日本が、また来たい、また会いたい人達が居る、という場所になったのではないのでしょうか。

このプログラムを通して思ったのは、Up with People でも感じていましたが、人は国とか関係なく好き嫌いや興味等が分かれていて、外国人という括りではなく、その人そのもので考えて接する事が、本当に大事だと感じます。

見た目で判断してしまうとき、その人の本質を見て、これからも関われたらと思います。

そして是非、普段あまり異文化に触れられていない人達にも、地域コーディネーターとして関わって貰えたら、うれしく思います。

こんにちは。おにぎりプロジェクトスタッフの北野三保子(さんぽこ)です。

今回このプロジェクトを通して、私の地元である群馬県の盛り上げや自分自身の成長に繋がる貴重な経験をすることが出来ました。

滞在プランを考える過程でこれまでにはなかなか見えなかった地元の魅力に気付きましたし、プログラム実現を通して地元にも恩返しが出来たのではないかと考えています。

ホストファミリーの皆さんからも「群馬の良さを知ってもらえたことが嬉しかった」「国を超えて新しい家族が出来た」という感想をいただくことが出来ました。この活動が広がることで、グローバルとローカルの両方の視点で価値ある体験を届けることが出来るとひしひし感じました。

「地元を元気にしたい！新しい風を吹かせたい！」という想いがある人に地域コーディネーターとして活動してもらえたら、日本各地で国際交流を楽しめる人が増え、外に目を向けられる日本人が増えていくと思います。

改めまして、素晴らしい挑戦をありがとうございました！

【2019おにぎりフレンズプロジェクト概要】

キャスト：11名5か国（男4女7）

ホストファミリー：東京（7家族）、中津川（9家族）、群馬（9家族）

外部講師：日本舞踊（花川梅朝師匠）、殺陣体験（シロ）

スペシャルサンクス：UWP日本同窓会のみなさま、元気座さん、日伯学園の高校生たち・先生方、常盤座のスタッフの方々、森さん、太田さん

動画撮影：上原紗英（ぽす）

共催：MRAハウスOCA国際交流事業

後援：NPO法人コモンビート